

千葉県廃棄物処理施設設置等審議会

議 事 録

令和3年度 第2回

議題

- (1) 有限会社太田サービスの産業廃棄物最終処分場の設置計画について
- (2) 株式会社タケエイの産業廃棄物最終処分場の設置計画について

令和3年度第2回千葉県廃棄物処理施設設置等審議会 議事録

1 日 時

令和4年1月21日（金） 13:00～16:20

2 場 所

TKPガーデンシティ千葉 4階 ロンド（千葉県千葉市中央区問屋町1-45）

3 出席者

審議会：7名

事務局：江利角環境対策監

廃棄物指導課：陣野課長、山縣室長、中島主幹、上坂主幹、尾形副主幹、
岡野主査、押尾技師

海匝地域振興事務所：渡邊副主幹

印旛地域振興事務所：幸森副主査

環境研究センター：大石上席研究員

4 議 事

(1) 有限会社太田サービスの産業廃棄物最終処分場の設置計画について

(2) 株式会社タケエイの産業廃棄物最終処分場の設置計画について

5 議事要旨

(1) 有限会社太田サービスの産業廃棄物最終処分場の設置計画について

非公開

議事録は許可申請に対する処分後に公開

(理由) 情報公開条例第27条の3ただし書

(2) 株式会社タケエイの産業廃棄物最終処分場の設置計画について、事業者が審議会各委員からの質問及び意見に対する回答を説明後、回答に対する質疑応答があった。

委員 浸透水に関しては、埋立地の最下部で確認していただけるということで、環境の側面からは非常にいいと思う。これはマンホールで15メートルぐらい下まで落とす予定か。あまりに高く、危ないのではないかと考えていて、浸透水だけであればマンホールのタイプでなくても、何らかの採水方法があると思った。これは通常の浸透枺、5メートル程度の物を作るのと同じように、上まで上げるという計画か。
事業者 おっしゃる通りですが、一部、安全性を考慮し、直径200mm程度の管径で設置可能であるので、計画では、200mmの管径1ヶ所及び5mごとに直径600mmの管径1ヶ所、計2ヶ所の浸透水採取設備を設置し、モニタリングの監視をしていきたいと思えます。

委員 ありがとうございます。

委員 この地域の地盤の構成ということになると思うが、D s 1 からD s 3、教科書的な観点からすると、砂の含有量が88%、圧倒的に砂によって構成されるような土の場合の単位体積重量が、私の知る限りにおいては、20kN/m³をはるかに超えるようなものが一般的である。従って、なぜこういう数値が、試験値として得られたのかということに非常に注目した。試験値ということにおいては大いに尊重したいと思うが、このD s 1 からD s 3について、やっぱり地質的な区分を併記していただく、明確にさせていただく。確かに報告書にはありますが、読めない。眼鏡をつけてもなかなか読めない。これは、改めてはっきりさせるようにしていただきたい。という点が一つです。

実際に埋め立てた廃棄物を採取し、社内の知的財産というようなことにおいて、データの蓄積を図りたいという、意見をいただいているが、廃棄物は採取するだけで、データは出てくるのか。どのような試験を行うのか。非常に微妙なところですので、はっきりさせていただきたい。

事業者 埋め立てを開始した時に、廃棄物のパラメータの蓄積を図るという部分ですが、大木戸最終処分場で実施したように、同様に試料を採取し、供試体を作成し、3軸圧縮試験を行う予定です。他の質問でもありましたが、Bの値がどうだろうというところがありましたので、今回入念にやっていないわけではありませんが、更に圧密ができるような形の供試体を作るように細心の注意を払って、進めていきたいと反省したところでございます。

委員 ぜひ、B値は0.95以上でお願いしたい。

事業者 はい。わかりました。

委員 お伺いしたいのは、地下水のデータで電気伝導度が上部右側観測井戸と下部観測井戸で非常に高い。それから、CODが驚くほど高い。ちょっと地下水では考えられないような値になっているのは、これはだいぶ前のデータではあるが、何か見解があれば教えていただきたい。また、この水を飲用に使っているような周辺のご家庭はあるのかということをお教えいただきたい。

事業者 COD、BODが高いというのは、採取した時に水があまりなくて、濃縮されていたような感じが見受けられたと記憶しております。あと、周辺の民家で飲料水として使っているのかということですが、周辺に、200m離れている所で、民家で井戸を使っております。それもことから、周辺の民家の井戸調査というのを、無作為抽出で行っているという形ですが、その調査については、飲用基準の53品目について調査をするようにしております。今回も同様の地区ですので、同様の対応をしていきたいと考えております。

委員 濃縮ってというのは、電気伝導度の話ですか。この有機物の方はどういう考えなのか教えていただきたい。

事業者 申し訳ないですが、この場では回答できないので、社に持ち帰って詳しく、検討していきたいと思えます。

委員 確かに、今の先生のご意見に対するご回答で、浸透水が濃縮しているというのは

井戸の中ではあるかもしれない。

事業者 はい。浸透水が溜まり水のようになっていましたので。

委員 なるほど、それならあり得るのか。わかりました。

委員 先ほど説明していただいた、地下水等高線でB5とB6の数値に矛盾があるという
ことで、ご回答が文章に残っているが、等高線に軽微な間違いがあると。間違い
っているのは、重大な間違いであれば重大だっって書いていいですが、軽微な間違い
というのは、これは事業者さんが勝手に感情論で入れた言葉になりますから、軽微
な間違いかどうかというのは、誰が判断するのですか。間違いは間違いなのでしょ
う。だから軽微な、というのは消してください。

事業者 ありがとうございます。

会長 質疑等、よろしいでしょうか。

委員 意見なし。

会長 では本件については、意見が出尽くしたようなので、質疑応答はこれで終わりたい
と思う。